

## トビウオ通信 (H20 第10号)

http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/ (TEL 0855-22-1720)

### 《平成20年度第3回日本海海況予報》

当技術センターを含めた北海道から山口県までの水産研究機関と独立行政法人水産総合研究センター日本海区水産研究所が協議してとりまとめた第3回日本海海況予報(10月2日付け)が発表されましたので、その内容に最近の動向を加味して、今後の山陰沖の海況を予測します。

#### 今後の山陰沖の海況見通し (2008年10~12月)

- (1) 隠岐諸島北東の暖水域は、ほぼ停滞する。
- (2) 島根沖、山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは平年並み。
- (3) 山陰沿岸の表面水温は、やや高めで経過する。
- (4) 山陰沖の50m深水温は、平年並みで経過する。

#### 2008年6月~2008年8月までの経過

- 6月に隠岐諸島北東でみられた暖水域は、ほぼ停滞していました。
- 島根沖の冷水域は、規模は平年並みで接岸傾向にありました。
- 山陰・若狭沖の冷水域は、規模は小さく、接岸状況は平年並みでした。
- 対馬暖流域の表面水温は、6月はほぼ全域で「平年並み~やや低め」でしたが、島根県沿岸部では「かなり低め」の海域が分布、7月は「平年並み~やや低め」の海域が広範囲に分布、8月は隠岐諸島周辺では「かなり高め」の海域が分布していました。

#### 現況(2008年9月) (別添模式図参照、模式図は日本海区水産研究所作成)

- 暖水域は隠岐諸島北東に分布しています。
- 島根沖および山陰・若狭沖の冷水域は、規模は大きく、接岸しています。
- 対馬暖流域の表面水温は、全般的に「平年並み~やや低め」となっています。

- 対馬暖流域の 50m深水温は、日本海西部では「平年並み」となっています（7～9月の平均）。

### 山陰沿岸の現在の水温動向と今後

- 当センターが定期的に観測を行っている浜田市沿岸の水温は、7月中旬以降急激に上昇しました。9月に入って一旦平年を下回ったものの、下旬以降は平年を上回って推移しています（図1）。
- また、気象庁の季節予報（10～12月）によると中国地方では平均気温は高くなるとされています（確率50%）。
- よって、今後気温が高めで経過し、時化等による海域の大きな攪拌がなければ、山陰沿岸の表面水温は「やや高め」で経過すると推定されます。

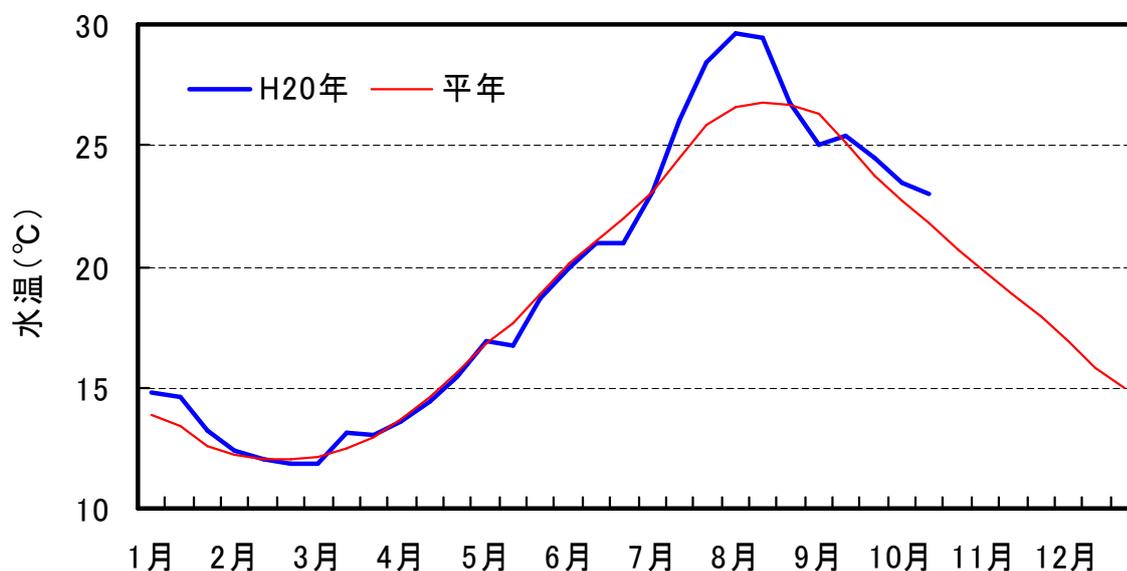
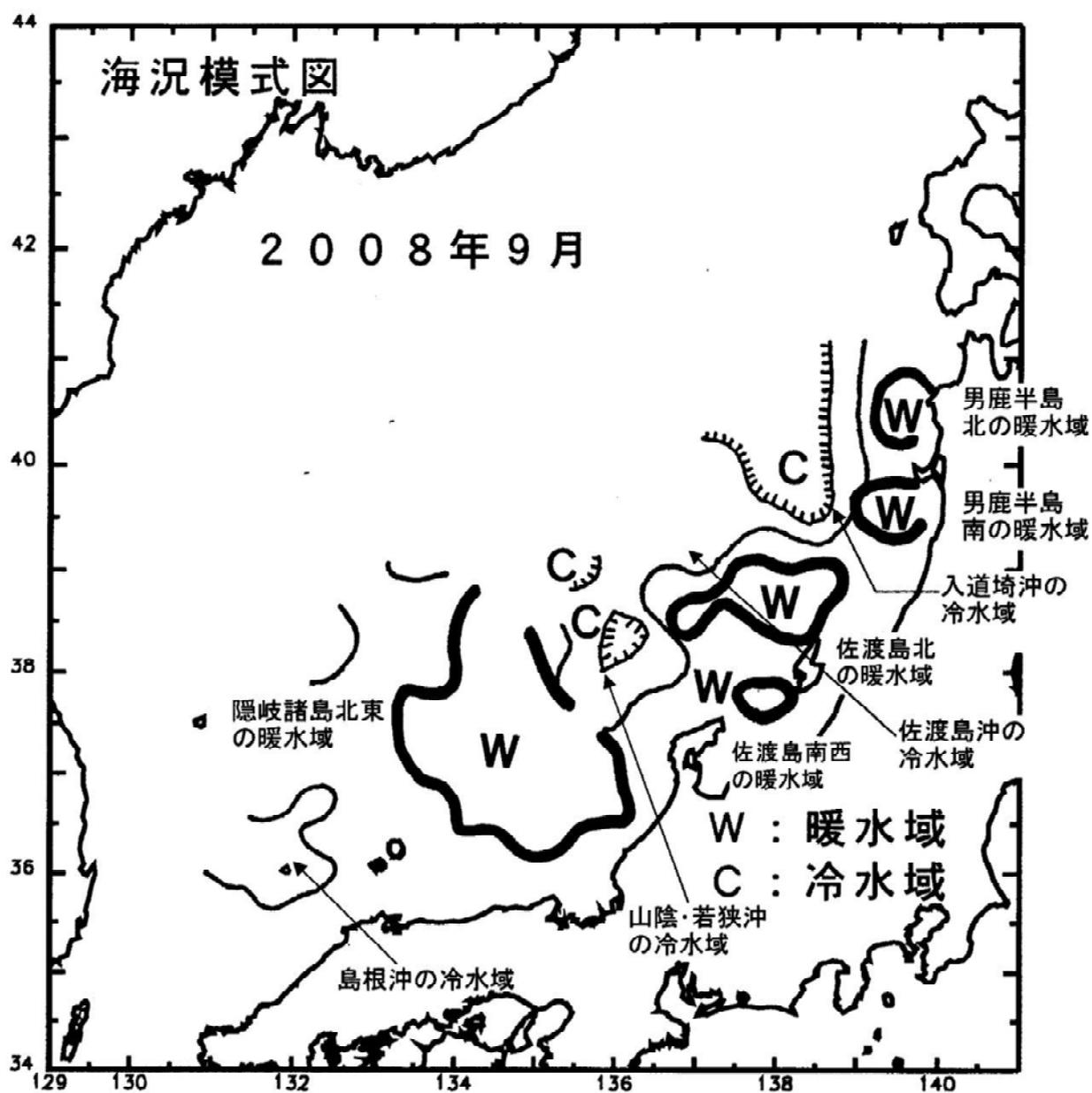


図1 浜田市沿岸の水温の推移（平年は過去25年間の平均水温）



2008年9月の海況模式図